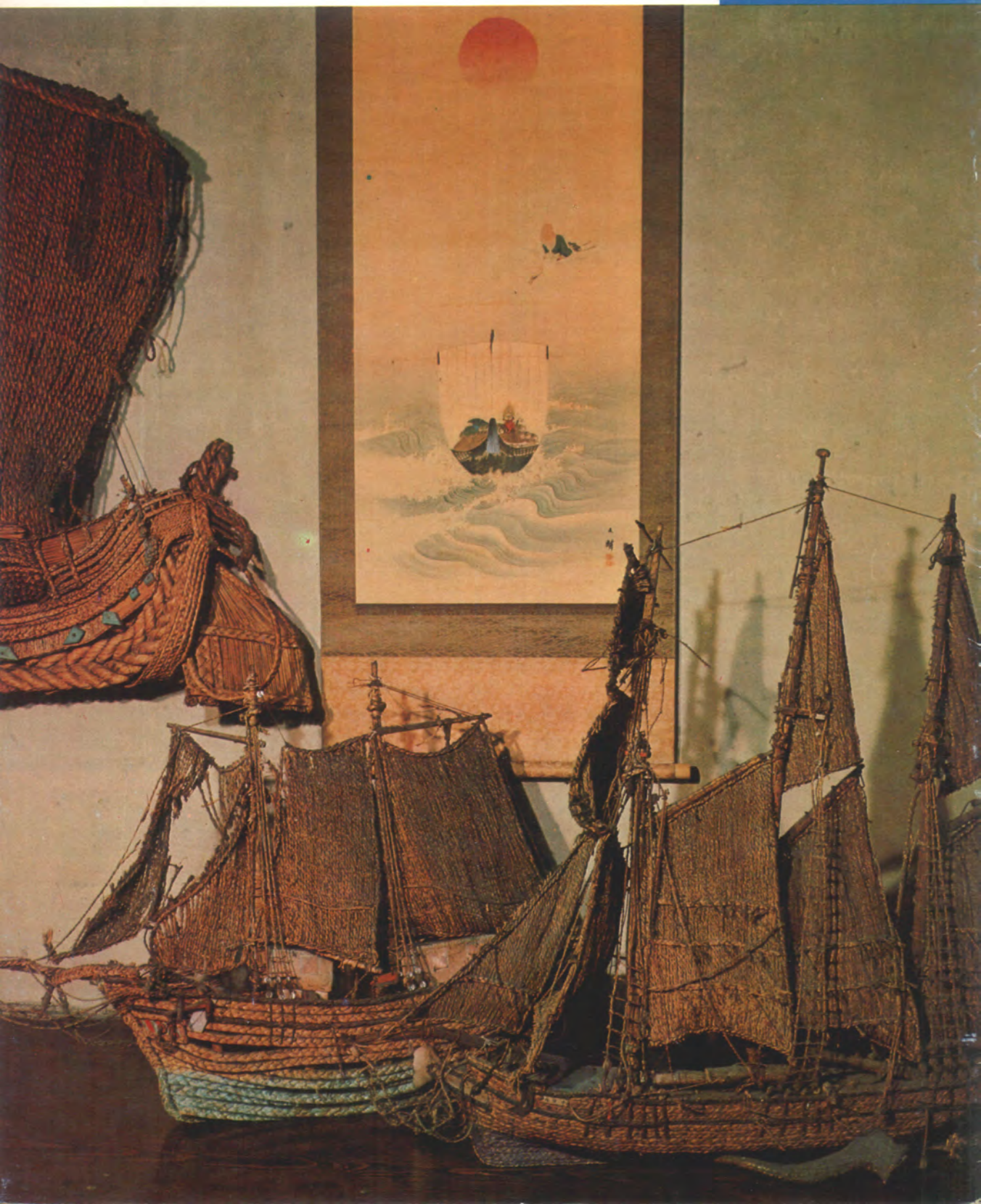


みんなの県政

1974/2

NO. 61 富山





今月の園芸

センリョウ

センリョウ科の常緑小灌木
西日本の暖地の林下に生じる
茎にふくれた節がある
葉は対生し卵状楕円形、果実は核果で球形紅色



みんなの県政 1974・2・もくじ

●生涯教育を考える	1
●対談「みち」とは	2～4
●生涯教育	5
●交通死者半減3カ年目標	6～9
●ふるさとのほし	10～11
●献体運動を進めよう	12～14
●くらしの知恵	15
●物価と家計簿	16～17
●県政雑話	18～19
●トピックス	20

生涯教育を 考える

歩くみちから人のみちまで、いずれもみちをいくと必ず人に出あう。

我十有五にして学に志し……と孔子が言うように社会情勢のめまぐるしい変化に対応していくために、日ごろから勉強、あるいは情報の収集をはかつてゆかねばなりません。

生涯教育という長い一本のみちを考えてみましょう。

●表紙せつめい●

わらで精巧に作られた船魂は航海の無事を祈って、出航から帰航するまで家に飾っていたもの。
2月11日は漁業の仕事はじめ。当時、カンと帆だけにたよって航海していた人々にとっては祈ることしかなかったであろう。
無事、帰ってくれば焼きすてられたもので、いまは殆どのこっていない。上にあるのが和船で、下にあるのは帆船である。





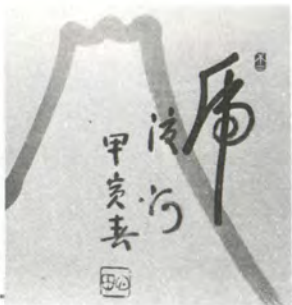
対談



『みち』とは

国泰寺管長 稲葉 心田
富山県教育次長 屋敷 平州

虎、河を渡る



屋敷 今年寅年ですが、いま老師(稲葉心田氏)からいただいたこの色紙にも虎と書いてありますが、富士が添えてあるのでチョット説明してくださいませんか。稲葉 これは、中国の話ですが、その昔劉昆という善政を敷いた方がありますが、

「道」と人の出会い

屋敷 そうですかありがとうございます。新年を迎えてひとそれぞれのみちにあることになりましたが、そのみちについていろいろ老師にお伺いしたいと思います。

みちと申しますと、高速道路から自然遊歩道、人も行き、車も行きかうものもあり、また、仏道、芸道といった人のみちもあります。共通して言えるのは、そのみちを行くと必ず人に出会うということだと思います。私自身、中学のころ、パスカルのパンセに感動しました。それ

学びつづけること、人を見出すこと

屋敷 歴史をみても、親らんは法然に出会い、快川和尚と信玄の出会いなど感動勉強しなければ対応できない事情があります。また、生活に余裕がでてきて、本を読んだり、自分を見つめてみようとする時間が増えてきています。相対的に余裕がないと、考えたりすることができない。誰もが余裕のあるようにするのが福祉行政です。現在、県も福祉に力を入れて、いまから生涯教育を充実していきたいと考えています。

稲葉 大変けっこうなことですね。生涯ということは、仏教でいうと学ぶこと、学ぶ心がまえが必要になってきます。私は若い人に虚心といって、カラッポだからこそ茶わんにお茶が入る。お茶を入れるために器が完全であること。もらないこと。さすがにないこと。しかも上を向いていることが必要です。それと学ばうとする意欲が大切ですね。馬をいくら川端へ引っぱっていても馬にその気がなければ水を飲まずことはできません。

みちは体で学ぶもの

屋敷 生涯教育の中で、幼児教育に力を入れています。これは、家庭教育になるので、家庭と連携いしながら教育を助けるような条件を整えていきたい。さらに成人や老人の方などすべての人が参加できるような条件をつくっていきたくて考えています。いま、老師がおっしゃったように条件だけではうまくいかないと思います。



させられます。出会いを重ねながらみちをたどっていくのでしょうか。

最近、梅原猛という人が「古典の発見」という本を出され、この中で「私はたえず認識をもとめて永遠にさすらう旅人だ」といっています。

そういえば芭蕉も旅をすみ家にするといっています。結局学びつづける中にみちを、旅を見出したんでしょ。

いま、中国で批判をうけている孔子も当時としては、学びつづけることの中にすみ家をつけた人のようです。しかし凡人はなかなかできないことで……人間は生まれながらにして学びつづけようという本性があるのでしょうか。

稲葉 それは自分を意識しない者もありません。しかし、見出そうと努力する人も必要だと思います。

ある管長から聞いた話ですが、お寺に何のとりえもない男がいたそうです。し

かし毎日、何か一つぐらいこの男にもとりえがあるだろうと、五年間もジッとやることをみていたというんです。するとようやく一つあった。その男は、ご飯を給仕するとき、まことに上手に盛りつける。そのため、だれでも一杯余計にたべたというんです。

仏教の生涯 学ぶこと

屋敷 ことしから、とくに生涯教育に力を入れていこうと考えています。

自分の心の中で良い出会いがあれば、それなりに伸びていくということですが、稲葉 出会い。川端康成は邂逅といっています。仏法では一期一会、今日あうことが永遠の別れであるという切実な気持ちであれば良いのです。

屋敷 みちは、個人的なものでなく公のものといえますか、縁によって結ばれ、縁によって通ずる自由自在なみちもあるようです。

稲葉 自由自在であるため、感覚的な欲望にながれてしまうのもみち。そこに大きな落とし穴があります。

屋敷 生涯教育といわれる社会条件として、社会は変わるものですから、次々と

稲葉 幼児教育について、本当のこと、

つまり幼児の前、母親の妊娠から出産しなければなりません。大切なのは、教える者と教えられるもの、親と子、先生と弟子といった「と」によって結ばれるのでなく、この先生の弟子とかいった「の」によって結ばれるべきです。仏法では不二といえます。これを表わすのが合掌です。この中に教育の根本があります。「の」によって結ばれる世界をお互いがしっかり把握することが生涯教育の根本でしょう。

屋敷 親子は不二の出会いという型で、まず幼児教育がはじまるということですね。

稲葉 母親が子供に乳房を与えることは当然であって、これを与えたと自分の姿がみにくくなるといふ考え方は間違っている。全身をもって子を愛し、全身をもって子供が親をしたう。そこに真の芽ぶくところがあるようです。

釈迦も達磨も未だ修業中

屋敷 成人教育、老人教育という面からいま県民大学校を考えています。これは文部省の大学と違って、講座を中心に人生論や趣味などそれぞれの専門のコースをもつけていくものです。このほか、資格のとれるような講座、家庭で学びたい人のための教育情報をながしたりする情報バンクの性格をもたせていきたいと考えているのです。

稲葉 老人にも意欲的に学ぼうとする人が

多いので、そういう人たちを引っぱっていきようなことも必要です。とくに、ひとりひとりの学ぼうとする気持ちに火をつけることが大きな課題ですね。**屋敷** 学んでいくことを考えるとみちは人生につながります。どのように生きていくか。みちは、沈黙の表現というか、たずねても答えてくれないですね。昔からみちとは何ぞやという問題がよく出ますが禅ではどのように答えられるのでしょうか。

稲葉 私たちは、茶の道、禅の道という、社会と隔絶した別のみちがあるように思います。禅では、みちを学ぶ根本は、頭で学ぶのでなく身体で学ぶといえます。中国に趙州という学ぶことの典型的な人がいました。六十年間修行をし「三十年間」旅をし、はじめて寺をもち二〇才まで生きた人ですが、この人はまことに巧みな一言一句をもって人を導いたんですが、ある人が金言を求めてやってきました。

朝になり趙州は「あなたはおかゆを食べましたか」と、
「はい、いただきました」
金言をききたのに何故こんなことを、と思いつながら次のことをまわっていき、すると「おかゆをたべたら、そのオワンを洗っておけ」といったさうです。そこでその人は、なるほどと納得しました。

つまり、よいこととわかっていながら

それを実行しないところに問題があるわけ、あらゆることに通ずると思います。宗教のみちも日常のみちもかわらないということですね。

趙州—唐の真諦大師(じゅうしゅう) 傳

屋敷 みちは近くにあるといわれますが、一生けんめい生きていく人のあしとにみちがひらけてゆくような気がします。**稲葉** 他をたずねないで、自分の中に入ってゆけば泉のように水が湧いてでます。みちは心の内と外に通じ、ひとつになつて一歩深いところで自分を見つめることができるものです。

屋敷 ちようと山に例えらるなら脈脈をさがしあてるような……彫刻でもノミを入れたつくりあげる中で自分が彫られていく過程が私のみちでもありましようか。

稲葉 私の友人に木を植えることは、命を植えることだと感得している人がいますが、彫刻一つにして、材料は、その命を預ることだ、その代り大きく生かしていく、命として考えるところに人生も大きくひらけてくるのです。

物をつけるには心をもって、法をうけるに身をもつてするとのことばがありますが、こういう気持ちが大きく伸びていくみちの基礎になると思います。

私たちの修業中のことばに、釈迦も達磨も未だ修業中といえます。われわれは永遠に修行だということですね。**屋敷** どうもありがとうございました。

生涯教育を考える

生涯教育

私たちは、情操教育や道徳教育ということばを耳にします。これらはおもに学校教育に関係する人たちの間で使われ、青少年の情操や道徳心を高めるための内容や方法をどうするかという場合に用いられています。

ところが、いま取り上げる「生涯教育」というのは、これらの何々教育とは大きな違いがあるのです。

人によってさまざまですが、人間一生のうちには、いやでも勉強しなければならぬ内容と時期と場があります。生涯教育というのは、これとはだいぶ趣を異にするので、

「個々人が豊かな生活をするために個々人の心がけ(意志)によって学んだり、運動したり、よいものを見たり、きいたり、作ったり」

するなど人それぞれの希望にそつ内容のものなのです。

先哲の教訓の中に

昔から人間の一生を準備期と成人期に分ける考え方がありました。ここでいう準備期は主に学校時代のことであり、おとなの時代に備えて、ある程度の知識・技能や態度を身につけておけば、成人になったあとでもよくやって行けるはずだという仮説が世間一般にまかり通つてきました。いいかえると、人生の旅路に備え、学校の時代に

「充電」しておけば、後は「放電」しながら生活ができるということでした。

たしかに、古き昔の動きの少ない社会では、成人として役割を果たすことができたのですが、今日のような激動の時代では、もうこの仮説が通用しなくなつてきたと同時に、学校教育について強い反省が求められるようになったのです。

孔子の有名なことばに「われ十有五にして学に志し……」がありますし、このほかにも多くの先哲が人間一生は、修養にこれつとめなければならぬとい説いています。

これらのほとんどは、どちらかといううと人格とか態度が強調され、知識や技能それにスポーツ、趣味など幅広い人間の向上といったものが薄いので、これらの人生訓を生かすことがそのまます生涯教育の考え方と一致するものではないわけです。

県民が望んでいる学習傾向

この表で見ると、実際の生活にあつた実用的なもの、より高い知識を求めるもの、生活にうるおいを持たせる趣味的なものの順で望まれています。大きな開きがないことがわかります。

また、同じ調整の中で、人間性を回復し、健康増進のために、スポーツ、レクリエーションが必要であることを多くの人が認め、その実行にあつては、自ら何らかの学習を求めていることが、自ら何らかの学習を求めているこ

とが十分伺われます。
「生涯教育」とは

社会教育と生涯教育とは同じではなく、また、学校教育に成人教育をつぎ足したものでなく、生涯教育の考えは教育の根本にかかわる問題なので、教育ということばのものととの意味は、かくれているものを明らかにすること、いいかえると人間の素質を引き出し、可能性をはつきりさせることともいえます。

つまり、教育は成人になるための準備でなく、自分自身を高めていくところの「一生涯を通じての」活動であるといえます。

住みよい富山県をつくる総合計画でも生涯教育は「人間の全人格的な発展のため、あらゆる種類の学習経験を統合することを目指して、生涯にわたつて継続する創造的・過程」とされてい、学校教育も含めた人間生活のすべての領域にわたるものです。

今後のすすめ方

乳幼児から高齢者にいたる生涯の各時期にわたつて「知る喜び」、「学ぶ楽しさ」、「作る喜び」、「体を鍛える愉快さ」のため、ひろく県民のすべてが、「だれでも、いつでも、どこでも」その望みがかなえられるようにするため、次のことを考えています。

県民の求めに応じ、年代や分野ごとに指導助言のできる指導者の養成と確保につとめます。

物

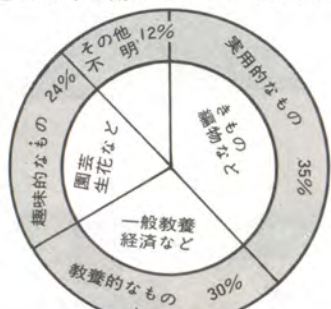
週休二日制が多くなつて、自由な時間が増加してくるので、図書館、公民館や青少年の施設をはじめ、スポーツ施設や美術館、博物館などの整備を計画的にすすめて、また、学校施設も大いに開放するようにつとめます。

事業

先にあげたように、県民の学習したいという要求が多いので、これにこたえるため、今年度中に県民大学校を充足させることをはじめ、学級や講座、スポーツ活動、演劇活動などの推進につとめます。

また、団体やグループへの参加をうながし、その特性に応じた事業が展開されるよう援助を考えています。

今後どのような講座をひらいてほしいか



昭和48年8月 第4回 富山県政世論調査から

交通死者半減

三カ年目標



—死者半減をめざして—

交通死亡事故抑止三カ年目標

県下の交通事故は、四十八年になってから大幅に減少しています。四十八年中の事故件数は、五、〇四七件、死者一六九人、傷者六、六〇三人で昨年同様に比べ件数で一、〇九七件の減少、死者は四四人の減少、傷者は一、四五一人の減少といずれも大きく減っています。このうち死者は、三年続いた二〇〇人ラインをはじめて下回りました。

しかしながら、現在の自動車台数と運転免許人口の伸び（一年に約三万台、一万五千人の増）からみて、事故が減少傾向にあるとはいえないものの、まだまだ樂觀はできない状況です。

このことから県では、現在の減少を機会にさらに全県民あけて交通安全に

取り組み、痛ましい事故の絶無を図ることにしました。そこで当面の減少目標を死者数の半減にしぼり、この三カ年目標を次のとおり設定しています。

第一年次(昭49)148人(32人減)18%減
第二年次(昭50)121人(27人減)18%減
第三年次(昭51)100人(21人減)18%減
この目標により年々減少し、昭和五十年末の死者を二〇〇人まで減少させることと想定しました。これを人口一〇万人当たりで見ると約一〇人となり、昭和四十七年の二〇・六人に比べ半減することとなります。

この目標を達成するため県では、警察、教育委員会、国の機関、市町村など行政機関のほか関係団体と緊密な連携をとり次の重点事項を中心に交通安全



全対策を従来にもまして強力に推進します。

- (1)交通安全施設並びに道路交通環境の整備充実(例えば街路照明、防護欄、路側帯、通行区分の標示など)
- (2)交通安全教育活動の積極化(例えば幼児交通安全クラブの育成、老人の交通安全教育、学校における交通安全教育など)
- (3)交通規則並びに交通指導取締りの強化徹底(例えば駐車禁止、速度制限、一方通行、運転者教育管理対策など)
- (4)地域社会における交通安全活動の促進(例えば地域組織を通じての広報活動、安全教育活動による交通安全意識の高揚など)

交通安全の防止は、県民ひとりひとりがもう一度、正しい交通のきまりを思い出してそのルールを実践することが大切です。尊い人命を守るため、お互いに声をかけあって事故の絶無に心がけましょう。

このことについて、県議会において次の決議がなされました。

◇交通死者の絶滅に関する決議

近年の自動車交通の急激な伸展は、県民生活に大きな恩恵をもたらした反面、自動車に基因する災害も年々とも深刻となり、昭和四十七年には、交通事故の死者数は本県の最高を記録するに至った。

さいわい四十八年は、県をはじめ関係機関が諸般の施策を積極的に推進し、前年より大幅に減少したことはまことに喜ばしいことである。

しかしながら、交通事故の推移は、自動車ならびに運転免許人口の増加傾向からみて、予断を許さないのみならず、むしろ四十九年は反動的に増加することすら予想される。

県では今般、昭和四十九年から五十年までの交通死亡事故抑止三カ年目標を設定し、これを中心とした今後の事故防止の推進を表明されたが、このうちは交通安全による死者の絶滅を期し、交通安全対策を従来にもまして重点的かつ強力に推進すべきである。



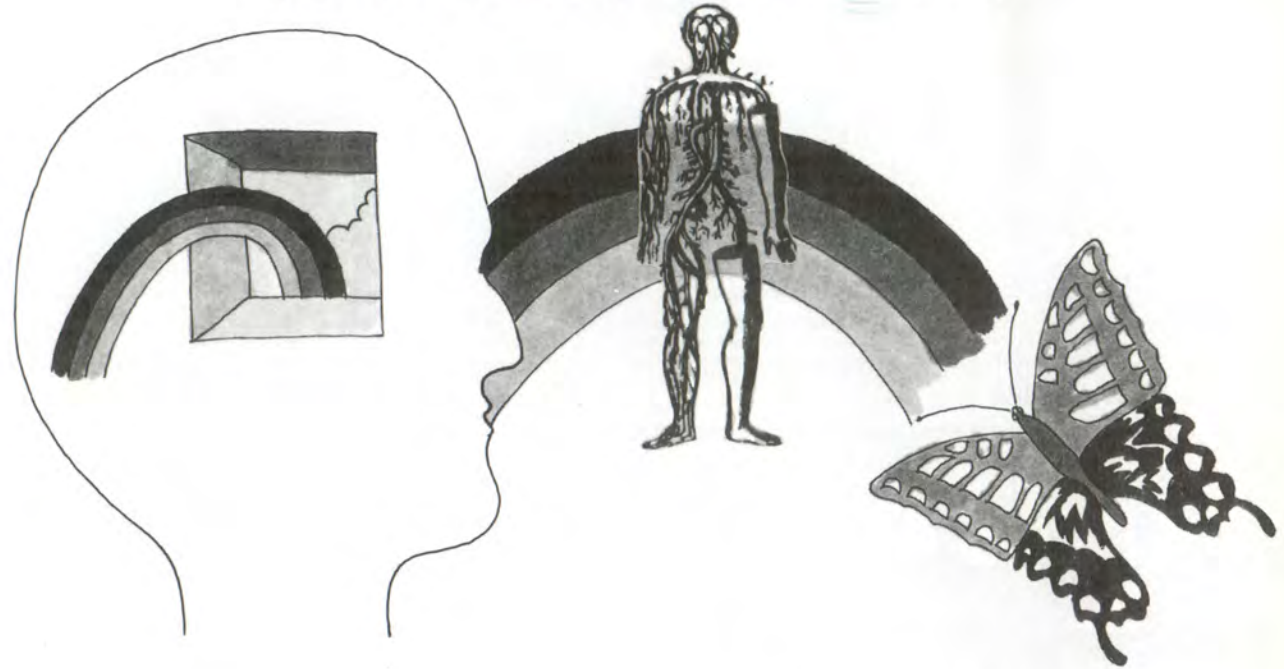


市内電車にのって、富山大橋を渡る。神通川の川面にきらめく光と、白く粧った北アルプスにまぶしくて目をとじてしまふ。戦前戦後と、めまぐるしい変転を経てきた富山大橋、いつみてもあきない冬の日の光景だ。

重量感あふれる橋脚は、繁栄を背負ってきた力が感ぜられる。

●よりよい医師を育てるために●

献体運動を進めよう



富山県に待望の医科大学が設定されることになりましたが、その実現には多くの難関があります。その一つに、医学生解剖学実習に欠かすことのできない、解剖学実習の確保の問題があります。それは、長い伝統を持つ東京大学や金沢大学医学部でさえ、ほぼ四人に一人(文部省基準では二人に一人)がやっとなというお寒い実情だからです。

と、いま一つは、篤志家の意志により生前から予約された篤志家の遺体を、遺族の同意のもとに寄贈してもらう方法(献体)の二通りがあります。

本県には前者の「引取者のない死体」がきわめて少なく一方では、医の倫理を問題にする立場から、解剖学実習が生前から予約した篤志家の遺体による教育が理想的であるとされています。そこで、本県に医科大学を設置し、よりよい医師を育てることによって今後の私達の健康の役にたつてもらうには、篤志家の遺体を寄贈する「献体」がぜひとも必要となつてきます。

表1 金大医学部における献体受入実績

年 度	受入総数 (体)	篤志体数 (体)	篤志率 (%)
35	26	0	0
36	48	1	2
37	50	2	4
38	37	3	8
39	37	1	3
40	21	1	5
41	24	2	8
42	29	0	0
43	35	4	11
○ 44	33	10	30
45	31	13	42
46	33	13	39
47	43	17	40
48	15	9	60

(単位：人) (48.12.24現在)

現在、「白菊会」など生前に献体を予約した篤志家の団体が全国の大学医学部に結成されていますが、北陸では、金大医学部を中心に「しらゆり会」が結成されています。もちろん本県に医科大学が設置されれば、解剖学実習は、「しらゆり会」から供給を受けることになり、本県の医科大学に献体することになります。

県内でも、富山県善意銀行の理事長であり、しらゆり会の理事長でもある中井精一氏はじめ多くの方々が献体を予約され、「しらゆり会」の会員になっておられます。

しかし、金大医学部をはじめ、さらに今後新設が予想される富山医科大学などが必要とする遺体を「しらゆり会」会員で充足しようとすれば、常時六千名の会員が確保されなければならないとされていますが、二十分の一程度しか会員がいないという実情です。

いずれにしろ現状のままでは、医科大学ができて、本県の医師を育てるための良い教育はできません。

よりよい医師を育てるために、県民の皆さんの深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

表2 「しらゆり会」会員現況

(単位=人)

	富山県	石川県	福井県	域 外	計
正 会 員	124	208	83	6	421
準 会 員	2	5	—	—	7
会 員 (計)	126	213	83	6	428
献 体 実 数	21	50	7	2	80
脱会その他	2	12	1	—	15
(合 計)	149	275	91	8	523

(注) 1) 44年度しらゆり会結成。2) 48年度は、10月集計による。

表3 北陸三県で必要とされる解剖学実習の遺体の数

大 学 名	学 生 数	遺 体 数
(医) 金沢大学医学部	120 (人)	60 (体)
金沢医科大学	100	50
富山医科大学(予定)	100	50
福井医科大学(予定)	100	50
(歯) 金沢歯科大学(予定)	120	30
合 計	540 (人)	240 (体)

(注) 1) 文部省実習基準 医学部1学生当り1/2体 医学部1学生当り1/4体

●問い合わせ先

☎920 金沢市宝町13-1
金沢大学医学部気付

しらゆり会
(電話0762-62-8151 内線 234)

☎930 富山市東田地方町1-5
富山県善意銀行
(電話0764-31-2239)

☎930 富山市新総曲輪1-7
富山県厚生部医務課
(電話0764-31-4111 内線 415)

「献体」に関する 一問一答

一、献体してもお骨は返してもらえますか。

「献体」として葬儀ができないとか、お骨も返らないという話があるのはウソです。葬儀がすんだところで、大卒を経由して火葬場へゆくと思えばよろしいのです。ただし、少々時間がかかるので、髪と爪を残してゆきます。そしてどんなにおそくても三周忌には戻ってきます。これからは、こんな形式の葬儀があるのだと考えていただければよいと思います。

二、学生が解剖するのは、丁寧な扱いは望めないのではありませんか。

「ごもつ」とも心配ですが、法律に基づいて、解剖学教授の責任において行なわれます。その指導がゆきとゆけば、学生は感謝の気持ちで解剖します。信頼できる医者にいのちを預けると同じで、少しも心配りりません。

三、法要などは行なわれるのですか。

大学では、毎年秋に遺族を招いて、病理解剖体と合同の盛大な法要を営み、全学生が参列します。立派な大学墓地もありますから、ここに分骨を納めてもらうこともできます。

四、費用の分担はどうなるのですか。

遺体を大学へ渡せば、お骨が戻ってくるまでの費用は、

すべて大学が支払ってくれます。

もちろん葬儀の経費は、お宅でお支払いいただくかなければなりません。

五、「しらゆり会」というのは何ですか。

献体を予約した北陸人の作る団体で、昭和四十四年に発足しました。会員は北陸三県の医科大学に献体することになっていきます。もちろん富山県に医科大学ができれば、その大学にも献体することになります。

「しらゆり会」では、年一回総会を開いてお互いの健康を喜びあい、「献体」のよびかけを行ないます。「しらゆり」とは、「会員」の「清純」な献体精神を表わしています。会員のうちには、生き甲斐を感じてか、入会してからというもの、すっかり元気になったとの声が聞かれます。

学生たちのために、できるだけ完全なからだを提供しようとするのですから、自然、健康にも気をつけるからでしょうか。

新谷順さん(会員、女性)の和歌

世のためにつくすことなきこの身なり

捧げまつらん若き生徒に

白百合の集いに入りしこの身をば

いたわりゆかん学徒のために

六、会員としての特典がありますか。

何もありません。大体、「献体運動」は善意の運動ですから、何かを求めめるのでは本当でないと思います。その

かわり、会費なども一切ありません。

もともと人のからだは、どんなに大金をつんでも買わることができません。また、買うべきものでもありません。「しらゆり会」の会員は、遺体を「無条件」で寄付するのです。

七、入会するために何か条件がありますか。

一つだけ条件があります。それは「家族の同意」です。ご家族の協力がなかったら、あなたの献体はまず実現しないでしょう。そこで、入会申込みの際、ご家族全員の同意を得ていただきたいのです。

家族全員とは、「あなたの財産を相続する方々」とご理解ください。しかし、その他にも、とくに発言力の強い方がおられる場合には、その方の理解も大切です。

ただし、同意がととのわなくても、入会できる「準会員」の制度があります。まず「準会員」になって、家族同伴で総会に出席していただくのも、同意を得る良い方法です。

一、二度話して賛成されなかったからといって、簡単にあきらめないでいただきたいのです。

八、家族のいない人は、どうしたらよいのですか。

何も心配ありませんから、どなたか責任をもって大学へ連絡してくれる方を良く頼んで「同意者」になってもらってください。

親しい友人や隣人、民生委員、福祉事務所のケースワーカーでもよろしいでしょう。老人ホームにお住まいなら、その事務長さんをお願いするのが大変結構です。



加工食品の品質表示

指定されている商品

- ①果実飲料 (昭和47年1月1日以降製造のもの)
- ②トマトジュース (昭和47年1月1日以降製造のもの)
- ③トヤトケチャップ (昭和47年1月1日以降製造のもの)
- ④魚肉ハム・ソーセージ (昭和47年1月1日以降製造のもの)
- ⑤炭酸飲料 (昭和47年4月1日以降製造のもの)
- ⑥食用植物油脂 (昭和47年8月1日以降製造のもの)
- ⑦マーガリン (昭和47年8月1日以降製造のもの)
- ⑧しょうゆ (昭和47年10月1日以降製造のもの)
- ⑨ケーシング詰かまぼこ (昭和47年11月1日以降製造のもの)
- ⑩即席めん類 (昭和48年2月26日以降製造のもの)
- ⑪ジャム類 (昭和48年6月1日以降製造のもの)
- ⑫ベーコン類およびハム類 (昭和48年11月26日以降製造のもの)

品質表示基準の内容

JASマークのついている加工食品は、ある一定以上の品質が保証されているほか、品質に関する表示もされていますから、消費者の商品選択のめやすになります。そこで昭和四十五年五月にJAS制度が改正された際、JASマークのついていないものでも政令で定められたものは、品質表示規準化にそった表示をしなければならぬことになりました。

表示してあることがらには品目ごとに定められていますが、大別すると、

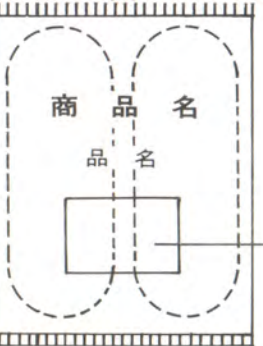
- ①品名
- ②原材料(食品添加物を含む)
- ③内容量
- ④製造年月日
- ⑤製造業者または販売業者の氏名、住所などを一括して表示のしかた

●即席中華めんの例



品名	即席中華めん
原材料名	油揚げめん(小麦粉、植物性たん白、卵粉、植物油脂、ラード、かんすい) 添付調味料(食塩、とり肉エキス、香辛料、調味料)
内容量	内容重量100g、めん重量88g
製造年月日	下部に記載
調理方法	裏面に記載
製造者	○食品株式会社 富山市新総曲輪4-18

●ケーシング詰かまぼこの例



品名	ケーシング詰かまぼこ
原材料名	魚肉(たら、ぐち、えそ、その他)、卵白、でん粉、調味料 弾力増強剤 合成保存料、合成殺菌料添加
澱粉含有率	5パーセント
内容量	300グラム
製造年月日	昭和47年3月28日
製造者	○食品株式会社 富山市新総曲輪4-18

富山市の物価の動き (八月～十二月)

八月の消費者物価はやや安定した傾向を示していたものの、九月から富山市をはじめ県下の消費者物価が急カーブを描いて上昇しました。

野菜の暴騰、秋・冬ものの衣料の急騰、そのほか変動の少ない光熱費にも上昇がみられ、政府をはじめ関係機関の懸命な物価対策にもかかわらず、物価鎮静はまだ先のこととなりそうです。そこで、この原因を費目別に消費者物価指数で見てみましょう。

(昭和四十五年—一〇〇)

●総合(十一月指数) 一二九・四

全国平均での消費者物価指数が、八月から九月の間に総合で二・九%も上昇、同じ時期の富山市では、これをさらに上回り四・一%と急上昇(対前年同月比一三・〇%)しています。このようなことは、これまであまり例のない暴騰ぶりともいえるでしょう。

対前年同月比での上昇率も左のグラフで示すように、これで五カ月連続一〇%台となっており、なかでも十一月は一五・三%と大幅に上昇しています。このようなことは、やはり近年にない記録であります。

●食料(十一月指数) 一二五・四

いくつかの指数のなかで、私たちにとって特に

食料は関心の深いものと思えますが、その指数がどのように変わっているかを月別に見てみましょう。

八月は、一二〇・〇で前月に比べ〇・五%

(全国(+)一・九%)の上昇にとどまっています。これは、生鮮魚介、乳卵などが値上がりしたものの野菜および果物に値下がりがあったためです。

九月は、干ばつなどの影響で一二八・二で前月に比べ六・八%(全国(+)四・二%)と大きく上昇しました。

このように大きく上昇した原因は、野菜の対前月比五七・五%をはじめ、果物、乳卵、塩干魚介などが軒並に値上がりしたためです。

十月は、一二七・三と前月に比べ〇・七%

(全国(+)〇・五%)逆に下落しています。これは、果物二四・五%、野菜二二・八%および生鮮魚介三・六%と季節商品が大きくダウンしたのが要因となっています。

十一月は、一二五・四で前月に比べ一・五%

(全国(+)〇・二%)の下落となりましたが、これは砂糖の大幅値上がりで、調味料五・一%、塩干魚介四・四%、生鮮魚介二・五%、乾物一・九%、酒類一・七%とそれぞれ上昇し、反面、野菜一五・三%、果物二五・三%、乳卵一・七%とそれぞれ下落したためです。

少し見かたを変えてみると、野菜・生鮮魚介などの季節商品は、時期によって上下していますが、季節商品以外の食料は、ジリジリ上昇を続けているのがわかります。

●光熱(十一月指数) 一一〇・五

八月の光熱指数は、さる五月以来連続四カ月間一〇四・二で変動なく、対前年同月比でも三カ月連続二・六%になっています。このように変化のなかった光熱指数も、九月一〇四・四で前月に比べ〇・二%、十月は、一〇五・二で前月に比べ〇・八%全国(+)一・六%と上昇しました。これは、灯油の値上がり影響したものです。

十一月はこれをさらに上回り一一〇・五で前月に比べ五・〇%全国(+)一・二%)と大きく上昇しました。これは、灯油、プロパンガスの暴騰がその原因となっています。

●住居(十一月指数) 一三一・五

八月の住居指数は、一二四・〇となり前月に比べ二・一%上昇全国(+)〇・七%)しました。これは、家賃地代などが下落したものの設備修繕の板材、畳表、その他の木製品に値上がりがあったためです。

九月および十月の指数は、いずれも上昇しました。これは、八月と同様に木製品の上昇とガラス製品などの家庭用品に値上がりがあったためです。十一月は、一三一・五で前月に比べ三・九%(全国(+)一・八%)と大きく上昇しました。これは、設備修繕七・四%、家賃地代三・七%、家具什器二・〇%とそれぞれ上昇したためです。

●被服(十一月指数) 一五八・一

今年一月からほとんど値下がりなかった被服が八月に入って、夏物整理のため値下がりしました。値下がりの主なものは、背広、スカート、替えズボンなどです。そのため八月の被服指数は、一四三・五で前月に比べ一・六%全国(+)〇・八%)も下落しています。

九月は、一五一・一で、前月に比べ五・三%(全国(+)五・八%)の反騰となりました。これは、秋・冬ものの衣料が高価格水準で市場に出回ったためです。その主なものは、学生服、ワイシャツ、毛糸、ふとん綿などです。

十月は、一五六・〇で前月に比べ三・二%(全国(+)三・四%)、十一月は、一五八・一で前月に比べ一・三%全国(+)一・三%)と、それぞれ続騰となりました。これは、衣料のほか、身の回り品にも値上がりがあったためです。

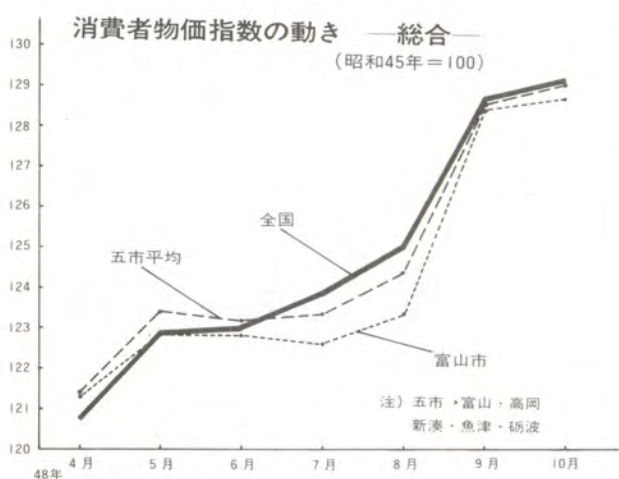
●雑費(十一月指数) 一二三・九

教養娯楽、雑誌、新聞代、その他文具などの値上がりがあったので八月の指数は、一二一・一で前月に比べ一・三%全国(+)〇・七%)上昇しました。

九月の指数は、一二三・一で前月に比べ〇・八%全国(+)〇・七%)とわずかながら上昇しています。

十月に入って、文具、理容衛生などに値上がりが見られたが、反面、健康保険の自己負担率の軽減により保健医療が大幅に下落したので、指数的には、変動がなく、先月と同様、一二二・一で横ばいとなりました。

十一月は、一二三・九で前月に比べ一・五%(全国(+)一・六%)と上昇しました。これは、自動車ガソリン、理容衛生、教養娯楽などの上昇がみられたためであります。



富山市の品目別価格 (12月)

品目	銘柄	単位	価格	11月からみた上昇率(%)	品目	銘柄	単位	価格	11月からみた上昇率(%)
あじ	まあじ丸	100g	62	△20.5	鶏卵	1個約60g	1kg	339	29.4
さば	丸(25-35cm)	#	30	20.0	ねぎ		#	119	△7.8
いか	するめいか	#	75	-	大根		#	59	55.3
煮干し	かたくちいわし上	#	61	1.7	にんじん		#	130	30.0
牛肉	中	#	245	△1.2	ごぼう		#	163	8.7
豚肉	中	#	120	0	玉ねぎ	葉玉ねぎを除く	#	138	3.8
鶏肉	ブロイラー・鶏肉	#	103	0	豆腐	木綿ごし	100g	14	0
ハム	プレスハム(上級)	#	90	-	油揚げ	薄揚げ	#	89	0
ソーセージ	ウインターソーセージ	#	88	6.0	納豆	赤ひき納豆	#	35	0
牛乳	びん詰(200cc)	1本	31	0	こんにゃく	板こんにゃく	#	23	0
バター	上,225g入	1箱	215	0.9	しょう油	濃口,上(2ℓ入)	1本	370	0

注) 生鮮食料品は上・中・下旬の平均価格、その他は中旬の価格です。△印はマイナスを示します。
(%)欄の一は前月価格が得られなかったため比較できないことを示す。

知識 ウェイト

消費者物価指数を作成する場合、個々の品目の値動きを総合して、その品目の家計に占めている割合に応じて重みをつけます。これを「ウェイト」と呼んでいます。指数は、個々の商品の値段の上がり下がりをもとめ、それを平均して作るもので、生活費にあまり重要でない商品の値上がり、生活必需品の値上がりとは、生活費に影響する度合いが違ってくるので、その度合を「ウェイト」によって差をつけ、指数に反映させています。

藩から県へ バンドリ騒動

明治二年(一八六九)の 大凶作 (3)

首領忠次郎捕わる

明けて十一月一日(旧暦の十月には三十日がなかった)、藩の山本郡宰は銃兵十数名を引率して、陸路がかえって危険とみて、舟で海路を国境に向った。

一方バンドリ党は十月二十九日から三日間にわたって、郡内各地の十村など村役人の家や土蔵を手あたりしだいに壊したり焼いたり暴挙をしくしくつつ進んだ。こうして一行は十一月二日に泊町(朝日町)に着いた。首領の忠次郎は小沢屋に宿泊したが、その夜忠次郎は連日の指揮と気苦労に相当疲れ、つい一杯の酒に寝込んでしまった。ところがその夜寝室をうかがった刺客に斬りつけられた。

幸い刺客もあわてた手先が狂ってか、わずかに左の頬先から口のあたりに傷を負っただけであった。忠次郎は跳ね起きて大声で一カツしたので刺客は逃れた。その声で一行の連中も総立ちとなり大騒ぎとなった。が、忠次郎は片手で疵を押え「騒ぐ

な」と一同をしずめて疵の手当をしていると、突然近くに銃声乱発の物音がした。ところがいままで、いきり立ってきた百姓たちも、あわてためらい出し大混乱となり、蜘蛛の子を散らすように八方に逃げだした。

それでも、バンドリ党の主だった者数十人は、ただちに忠次郎を駕籠(かご)に乗せ、周囲に付添って入善の方へ逃げようとしたが、入善の西方から筒先をそろえて発射する銃声に、駕籠かきはもちろん、擁護していた数十人も逃げだしたので、ついにアッケなく忠次郎は捕われる幕となった。

このように一時は衆をたのんで、猛烈をきわめたバンドリ騒動も終局となったのであるが、さすがに忠次郎は、首領として一代の男であったことがわかる。

立ち向った山本郡宰の怒りは物すこく、捕われの忠次郎に対し、鉄鞭を振りあげて叱咤した。「汝は百姓の分際として乱を起し、よくも新川全部を騒がした、憎さも憎ししい知れ」と。忠次郎は泰然としてさわがず、静かに郡宰を制するというには、「私は傷を負うて今や捕われの身となったからには最早天運のつきたるもの、これに鞭打ち給うても何の甲斐がありませんか」と、その毅然とした覚悟にさすがの郡宰も鞭打つ手も止め、「ア

一、憎むべきものながらまことに潔癖な心構えである」と感嘆したという。こうして忠次郎は三日早々、護送されて金沢の公事場の獄舎に入れられた。

忠次郎獄中で旧友と会う

忠次郎は金沢に送られて城東公事場の牢舎に入れられた。そしてまず泊の小沢屋で斬り付けられた疵の手当がなされた。処刑の前にこの負傷の手当は、罪を憎むが人を憎まないという、多少でもその筋の温情でもあろう。なおそのとき、公事場に勤務の義宗(良峰か)という人がいた。この義宗は国重村の出身で、かつて忠次郎と寺小屋で机を並べて勉強した幼な友達であった。二人は奇しくも数十年振りの旧懐をあたためることができたが、また涙の因縁でもあった。

義宗はいつまでもその治療の長からんことを祈ったが、捕われの身となってから約一年もあった。この間塚越村の人たちはかわりがわりきて、獄中の忠次郎を慰め所用品などを差し入れ慰問した。また忠次郎の獄中の謹慎振りは、まことに真面目に殊勝であった。 つづく



トピックス

● 県政のうごき ————— 12月1日～12月31日

12月2日

● 中田知事再選

知事選挙は、自民党公認の現知事、中田幸吉氏が29万8,633票で再選された。

同時に行なわれた県会議員の補欠選挙は、高岡市で江尻正一氏、新湊市で東保喜与四氏が選ばれた。

12月3日

● 石油等対策本部設置

生活物資の不足と値上りの深刻化で、県は灯油、重油、ガソリンを含めた石油等対策本部を設置した。

12月6日

● トイレットペーパーなど安定

県は、トイレットペーパー、洗剤、砂糖の需給状況、価格動向を調査の結果、品不足による混乱がおさまり、価格も落ちつき、今後も品不足の心配はないと発表した。

12月22日

● おふろ屋さんスト

燃料油の配分と価格安定を要求して、全国のおふろ屋さんが一斉にスト、県下でも八尾地区の一部を除き約300軒がストに参加して休業した。

12月10日

● 12月定例県議会開く

12月の定例富山県議会は10日招集された。知事再選後、初の議会であり、中田知事は冒頭に「初心にかえり、ねばりと正直、誠実と実行を信条として公約を実現、調和ある県づくりに全力をあげる」と所信をのべた。

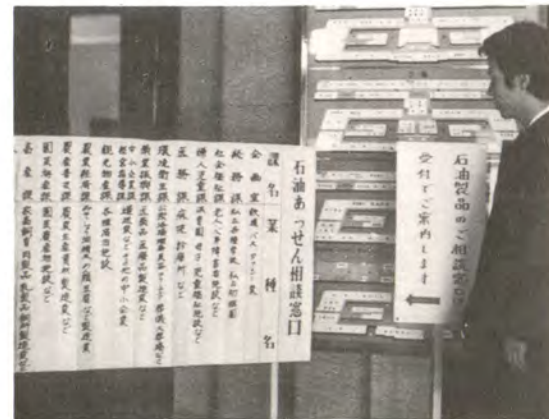
さらに提案理由説明の中で、物不足物価高に対し、「きめ細い総合施策で生活必需物資の供給に努力する」考えを明らかにした。

12月10日

● 社会福祉に6,900万円

社会福祉事業の振興を目的として松下電器産業から全国47都道府県と政令都市に50億円寄付されることになった。

うち本県への配分額6,900万円が知事に贈呈された。



各課の石油あっせん窓口案内板



知事の提案理由せつめい

12月12日

● 氷見バイパス一部開通

国道160号線のバイパスの一部、下田子～朝日丘間3.5*が開通した。

この市街地バイパスは、総延長5.4*、昭和47年度から3カ年の継続事業で総延長の片側を完成する計画。

12月15日

● ふくろう部隊出動

小暴力追放や脅し、たかりなどの粗暴事件、危険物不法所持者の取り締りを中心に1カ月夜の盛り場へ県警の「フクロウ部隊」が初出動した。

12月16日

● 愛の年末児童大会

心身の不自由な子どもたちを励まそうと、第25回愛の年末児童大会が富山市の県民会館でひらかれた。

県内各地から出席した保護者同伴の3歳から中学生までの在宅の心身障害児約600人を前に、中田知事が「逆境にまげず、きょうを楽しく過ごしてください」と激励した。

12月18日

● 水銀、暫定基準下回る

県は、富山湾魚介類の水銀分析を実施した結果、36魚種、809検体についていずれも国の暫定基準を下回った。

12月19日

● 12月県議会終る

12月定例富山県議会最終日、10億4,300万円の一般会計補正予算など28議案と報告3件の計31案件をいずれも原案どおり全会一致で可決した。

また、超党派で提出した交通死者絶滅を期す決議と、地方財政確立、年始、祝日の郵便集配廃止を中央に求める2つの意見書を採択して閉会した。

生活に役立つ情報をあなたに

電話による最新の物価情報をお知らせする消費者ダイヤルを、一月十日から実施いたします。物価情報を消費者の皆さんに毎日二十四時間お知らせするもので、電話番号は、富山(市外局番0764)41局の09999です。ヨイオクサンと覚えてください。

情報内容は、物価動向
輸入・生産状況
入荷状況
買物の目安
県の物価対策など

消費生活に関するあらゆる情報の中から、そのときどきのニュースをお知らせします。

“谷間に光を”



元気な
あがちやんですよ!!